

政策評価シート（平成27年度実績評価）

◎ 政策の基本情報

| | | | | | | | | | | |
|---------------|-------|---|-----|----------|-------------|------------------------------|-----------|------|-------------|------|
| 総合計画 中期プラン | 政策No. | 3-1 | 政策名 | 子育て環境の充実 | 政策の 目指す姿 | 子育てに喜びを感じ、安心して、健やかな成長を育んでいます | 政策 主管課 | こども課 | 政策主管 課長名 | 高橋 靖 |
| | 政策の方針 | 少子化が進行する中、花巻の次世代を担う就学前の子どもたちが健やかに育つためには、子育て環境の充実を図る必要があります。 そのために、親が安心して子育てができるように様々な支援を行います。また、子どもが基本的な生活習慣を身につけられるよう家庭の教育力向上を図るとともに、保育園、幼稚園から小学校へスムーズな接続ができるように就学前教育に取り組みます。 | | | | | | | | |

2 成果指標の達成状況

| 成果指標名 | 成果指標設定の考え方 (なぜ、この指標で成果を測ることにしたのか) | 成果指標の測定企画 (どのように実績を把握するのか) | 単位 | 区分 | H25 (基準年度) | H26 | H27 | H28 | H35 |
|---------------------|--|--|----|-----|---------------|------|------|------|------|
| 子育てしやすいまちだと感じる市民の割合 | 保護者が安心して子育てができるよう市が行う子育て支援に対する総合的な満足度を示す指標。増加を目指す。 | 出典：花巻市(市民アンケート) 問：花巻市は子育てしやすいまちだと思いますか。 (1) そう思う (2) どちらかというと思う (3) どちらかというと思わない (4) そう思わない (5) どちらともいえない (6) 子どもがいないのでわからない (7) 無回答 (1)(2)と答えた市民/全体から(6)(7)と答えた市民を除く | % | 目標値 | | 59.0 | 60.0 | 61.0 | 65.0 |
| | | | | 実績値 | 57.3 | 55.7 | 59.5 | — | |
| 達成度 | [達成状況に関する背景・要因] | | | | | | | | |
| B | 平成27年度における実績値は、ほぼ目標値どおりであるが反面、年齢別では、15歳から19歳の世代、20代、30代で約3割が満足していないと回答しており、子育て世代や近い将来の子育て世代での満足度が低い。また、職業別では、会社員、学生の約3割の満足度が低くなっており、子育てに直面している世代や、今後迎える世代について、多様な保育サービスの希望に十分応えられていない現状やこれに起因する将来への不安が目標値を超えられない要因の一つと考えられる。 | | | | | | | | |

3 政策に対する各施策の達成度

| No. | 施策名 | 成果指標名 | H25 | H26 | | | H27 | | | H28 | | 前年実績との比較 | 達成度 |
|-----|----------|---|------|------|------|-----|------|------|-----|------|-----|----------|-----|
| | | | 現状値 | 目標値 | 実績値 | 達成度 | 目標値 | 実績値 | 達成度 | 目標値 | 見込み | | |
| 1 | 子育て支援の充実 | 市の子育て相談体制に満足している保護者の割合(%) | 84.2 | 86.0 | 79.9 | b | 88.0 | 83.2 | b | 90.0 | | ↗ | C |
| | | 子育て支援サービス(延長保育、一時預かり、体調不良児保育)を実施可能な施設の割合(%) | 56.9 | 57.8 | 56.9 | b | 58.8 | 56.9 | b | 59.8 | | → | |
| | | 保育所の待機児童数(人) | 33 | 31 | 29 | b | 29 | 58 | c | 0 | | ↘ | |
| 2 | 家庭の教育力向上 | 基本的に生活習慣が身につけている子どもの割合(%) | 78.3 | 80.0 | 77.2 | b | 80.0 | 77.1 | b | 80.0 | | → | B |
| 3 | 就学前教育の充実 | 小学校入門期(小学校1年生の4~5月)における学校生活への適応率(%) | 82.5 | 85.0 | 93.0 | a | 85.0 | 89.5 | a | 85.0 | | → | A |

4 政策の総合的な評価

| 評価区分 | 政策の課題と要因 |
|------|--|
| B-③ | おおむね順調に進んでいるが、成果指標に対する満足度が40代以上で高い反面、子育て現役世代において低い。要因としては女性の社会参加や、経済状況に伴う共働き世帯の増加が考えられるが、安心して子育てできる環境の実現のためには、待機児童問題の解消や空き待ちしている希望保育所への入所を実現するほか、子育て支援サービスのための事業導入や人員確保が不可欠である。 また、施策3では達成度は高いものの実績値が下降、施策2ではほとんど変化がなく、少子化の進行する中で子どもの健やかな成長のためには家庭や園・学校、地域、行政とがさらに連携して取り組むことが重要である。 |
| 概ね順調 | |

| | | | | | |
|---------|---|--------------|---|---|---|
| 成果指標達成度 | A | | | | |
| | B | ☆ | | | |
| | C | | | | |
| | D | | | | |
| | | ④ | ③ | ② | ① |
| | | 政策に対する施策の達成度 | | | |

5 政策を構成する施策一覧

| | | | | | | | |
|---|---|----------|--------------|-----|---|-----|---|
| 1 | 施策名 | 子育て支援の充実 | 施策の成果指標の達成状況 | H26 | B | H27 | C |
| | <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育士不足のためニーズに応えられず待機児童が発生している。 ・子育て支援サービスを実施するための人員の確保が必要。 ・学童クラブの運営における調整が必要。 ・一人で悩みを抱え、社会から孤立している保護者への支援が必要。 <p>[今後の方向性]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認定こども園の設置や小規模保育事業の導入を促し、待機児童の解消や子育て環境の充実を図る。 ・小規模保育、一時預かり保育事業導入のための子育て支援員の養成を図る。 ・児童虐待の早期の相談対応、見守りを強化する。 | | | | | | |
| 2 | 施策名 | 家庭の教育力向上 | 施策の成果指標の達成状況 | H26 | B | H27 | B |
| | <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICTの利用による心や体への影響が懸念される。 ・家庭教育力の向上を目指した保育士体験への企業の理解が不十分。 <p>[今後の方向性]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICTの利用による心や体の影響について意識啓発を図る。 ・保育士体験に参加しやすいよう企業に事業を紹介し理解を促す。 | | | | | | |
| 3 | 施策名 | 就学前教育の充実 | 施策の成果指標の達成状況 | H26 | A | H27 | A |
| | <p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校低学年の体力、運動能力の低下が懸念されているが、就学前児童の実態が把握できていない。 ・公立保育園の再編を計画的に進める必要がある。 <p>[今後の方向性]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校や園全体での取り組みとなるようアプローチカリキュラム、スタートカリキュラムの定着を図る。 ・就学前児童の体力、運動能力調査により実態を把握し、向上につながるコオディネーショントレーニングを継続する。 ・公立保育園再編指針及び第1期実施計画により3園の民営化に取り組み、保育サービスの更なる充実や質の向上を目指していくほか、第2期実施計画の策定を進めていく。 | | | | | | |